

住民説明会での意見等について

美祢市新美東総合支所庁舎等整備基本計画（案）に関する住民説明会

開催日時・会場・参加人数

- ① 令和2年10月15日（木） 午後7時から 真長田定住センター 7人
- ② 令和2年10月19日（月） 午後7時から 綾木ふるさとセンター 6人
- ③ 令和2年10月21日（水） 午後7時から 赤郷交流センター 2人
- ④ 令和2年10月23日（金） 午後7時から 美東保健福祉センター 13人

① 真長田地区住民説明会（真長田定住センター）

ご意見・ご質問	応 答
デマンドバスを回すことを、この前も議会で話が出ていたが、デマンドバスを回すことは、確実にできるのか。それとも今のバス停から何か連絡方法を考えているか。	大田中央バス停や新町のバス停から、その二つを繋いで、新しく整備する庁舎との間の移動手段については、今後、庁舎が整備できるまでには考えていきたい。
現保健福祉センターの大ホールを総合窓口課として使用されるが、コンクリートの床のため、職員の体に負担がかかるのではないか。負担がかからないような床を検討されたい。併せて設計段階でパソコンの配線を足下から取れるように検討されたい。	今後の基本設計で、配線等も含め検討したい。

② 綾木地区住民説明会（綾木ふるさとセンター）

ご意見・ご質問	応 答
<p>児童クラブの部屋を検討すると言われたが、この空間構成の基本的な考え方の中のどれかの部屋になるということか。</p>	<p>この空間構成図の中にあるどこかの部屋にするのか、あるいは違うところに増築をするのか、今後検討していきたい。</p>
<p>美東センターについて、将来的にどうされるかは今後検討されると思うが、新しい複合施設をつくるにあたって、美東センターと併用してしばらくは解体しないのか。その場合の後の管理は、今と同じような管理方法になるのか。</p>	<p>美東センターの機能を新しい複合施設に移すことから、美東センターは教育委員会として役目を果たしたということで、基本的には速やかに解体したい。ただし、教育委員会以外の部署で何か活用があれば、その限りではない。教育委員会のスタンスとしては、新総合支所に公民館機能と図書館機能をしっかり盛り込んで、美東センターは、解体するという方針である。</p>
<p>将来的な話だが、保健福祉センター機能そのものが、今後どうなるのか。新総合支所庁舎等をつくることによって、保健福祉センターの機能そのものが、総合支所の中に併設されるのか。</p>	<p>現在、保健福祉センターの用途は、児童クラブ、子育て広場、集団検診の会場のほか、各部屋は様々な団体が使用されている。児童クラブについては検討中だが、子育て広場については、現在も、計画の中に入れてある。検診の機能についても、新しい建物の多目的ホールも含めて実施し、その他様々な検診も新しい建物で行うことになる。</p>
<p>現総合支所の土地は、民有地と聞いたが、民有地から外した方が、先々いいのではないか。</p>	<p>現美東総合支所の建屋部分は全てが市有地である。ただし、駐車場で使っているところは借地が含まれる。市有地部分と借地の部分について、建物を解体した後、有効活用を考えていかなければならない。</p>

ご意見・ご質問	応 答
<p>検討課題の1番のポイントは、児童クラブをどうするかということだったと思う。先ほどの説明では、今検討中で、別の場所に新たに建設する、あるいは、既存を利用して、この新たな複合施設の中に複合化するということだが、具体的にいつまでに検討をされるのか。</p>	<p>運営していただいている支援員と協議をし、複合化の方向がいいという話を聞いているが、実際に新総合支所庁舎等のどこに配置するか、利用者の保護者等の意見を参考に児童クラブで取りまとめるようお願いをしている。各地区の住民説明会終了後、協議の場を持ち、基本設計の段階で場所等特定できるように進めていく。</p>
<p>新総合支所の建て替えが、本来はこれをベースに、まちづくりということだったと思う。それで、児童クラブの件もあるが、やはり、教育委員会の方で検討されている小中一貫教育や、教育のまち美東や、子育てに非常に優しいまちづくりという意見も出ていた。そこについては、教育委員会と、地域福祉課で、将来の構想も考えられると思うが、その辺りは、どのような検討状況になっているのか。</p>	<p>小中一貫教育の今の進め方と美東総合支所の整備を面的にどう考えるかは、リンクはしていない。教育の美東という話が出たが、概要版の1ページの半分から下に、美東総合支所庁舎整備の目標というところに、あまり教育という言葉が入っていない。つまり、ワークショップの中で、この地域の方々の教育とこの複合施設の繋がりというのが、あまり伝わってこない。ですから、「みんなが頼りにできる暮らしの中心をつくる」というのは最終的な目標で、4つの大きな柱があって、一つだけ子育て支援があるが、そこには授乳室やカフェや子育てサロンなどの空間・場所が欲しいことは、見えてくる。しかしながら、この地域に大田小学校や美東中学校があるため、この新しい複合施設を使わないではないとも考えている。</p>
<p>今回のワークショップが一つの契機となって、将来のまちづくりを考えると、子育てを非常にしやすいところというのは、大いなるセールスポイントになるという意見が出ている。</p>	<p>ワークショップ等で、子育てしやすい場所という話を聞いているため、今後基本設計を進める中で、一つのポイントになってくると思う。その辺りも十分に考慮しながら、基本設計を進めていきたい。</p>

ご意見・ご質問	応 答
<p>児童クラブについては、住民説明会が終わり次第、関係者と打ち合わせをして、基本設計に反映させるということだが、スケジュール表だと、基本設計は1月末までとなっている。少なくとも1月末までにどうするかが、はっきりするという認識でよろしいか。</p>	<p>基本設計を始める段階、遅くとも11月初旬にはその方針が決定しないと、基本設計を進めることができないため、11月中には結論を出したい。</p>
<p>交通アクセスの問題だが、建設場所を決めるときに、大田中央バス停付近という話もあり、そこであれば、病院が近く、サイサイみとうで買い物もできるという話もあった。保健福祉センターでは、アクセスをどうするのか。その辺りも考慮して、この建て替えを考えてほしい。</p>	<p>新庁舎等が完成するまでに、様々な方法を検討し、交通手段の確保をしていくように考えていきたい。</p>
<p>どんなまちづくりをしていくか、いい契機になった。そういう意味で、この場所（保健福祉センター）というのは、小学校、中学校、保育所も近くにある。将来のまちづくりのときに向けて、しっかり検討していただきたい。この建物と直接リンクしろということを行っているわけではなく、今後複合施設が出来上がり、次はどうするとなったときに、まちづくりを念頭に、次のステップをどんどん考えていくべきではないか。</p>	<p>今言われるようなまちづくりの意識をしっかり持って、教育委員会でも小中一貫教育の取り組みを進めさせていただきたい。</p>

ご意見・ご質問	応 答
<p>近年、天候が大きく変化することがよくあるが、保健福祉センターについては、土砂災害や、水害はどうか。</p>	<p>土砂災害については、玄関付近が土砂災害警戒区域に該当する。水害については、計画規模（100年に一度程度の目安）であれば、浸水想定区域外になる。最大の規模であれば、1,000年に1度、2日で518ミリ程度の降雨を想定しているが、その場合は0.5メートルから3メートル未満の浸水区域となる。なお、浸水継続時間が12時間未満というところに該当する。</p>
<p>図書館の面積が、150㎡程度とかなり広いように見える。利用する方が、非常に少ないと聞いている。これは、小・中学校の子どもたちの数が減っていること、高齢化が進んで図書館に近寄りにくいというようなことも聞いている。今の図書館は、何㎡あるのか。</p>	<p>開架図書等の図書のスペースと書庫を入れて110㎡程度である。</p>
<p>美祢市には、市立の図書館があるが、関連はどのようになっているのか。</p>	<p>まだはっきりしたことは決まっていないが、美祢図書館も建替えの計画を立てている。</p> <p>その中でそれぞれの図書館機能の結び付けを検討していきたい。</p>
<p>高齢者が利用しやすい図書館を考えてほしい。以前は図書を積んだバスが回ってくるようなことがあった。これを復活するというわけではないが、何かいい方法はないか。近寄って行きたいけど行けないという人が段々増えている。この辺りをうまくやっけていかないといけない。寄り付きやすい、自分は動けないけれど、何か近づいて来て欲しいというようなものが、これから特に必要になってくると思う。</p>	<p>どこまで実現できるかわからないが、住民説明会でそのような意見が出たということ、今後の基本設計で、図書館をどのような形にするか、どのような機能を持たせるかということも、議論の対象になる。仕組みとして移動図書館が、どのように展開できるか、未知数ではっきりしたことは言えないが、意見として承っておきたい。</p>

③ 赤郷地区住民説明会（赤郷交流センター）

ご意見・ご質問	応 答
<p>高齢等のため車の運転ができなくなった人が、総合支所へ用事があり、バスで行こうとした場合、バス停から歩いて行かなければならない。新しい総合支所になればもっと遠くなるが、どのようにお考えか。</p>	<p>公共交通から離れることは、いろいろ議論になった。その中で、バス停から新庁舎等をつなぐ新たなシステムを今から考えていく。まだ決定事項ではない例えだが、近い将来、総合支所に電話をかけていただければ、総合支所職員が迎えに行くというのも考えられるし、10年先になると、グリーンスローモビリティという、簡単に言えばゴルフのカートのような乗り物を、往復させることも考えられる。そのため、新庁舎等が完成したと同時に、何らかの方法での往復を考えていくということで、バス停から離れることは、ご理解をいただいたところである。</p>

④大田地区住民説明会（美東保健福祉センター）

ご意見・ご質問	応 答
<p>AIなどの活用を見据えた通信環境等の整備とあるが、具体的に説明をお願いしたい。</p>	<p>AIの導入には時間がかかると思われる。そのため、将来的にAIなどを活用した窓口業務の省力化、また住民自らが操作する対話型の情報機器を設置した場合に、必要となる通信環境や、将来のレイアウト変更が柔軟に対応できるものにしていくということである。</p>
<p>交通アクセスの計画とあるが、現時点の美東総合支所に比べてバス停から離れることになる。公共交通についてどう考えているのか教えてほしい。</p>	<p>交通アクセスについては、バスルートの延伸等は、乗車人数から考えられる費用対効果等を考慮し、現実的でないとする。保健福祉センターに行くルートは、新しい交通アクセス方法を検討していくことになる。一つの例だが、グリーンスローモビリティなど、新しい移動手段の採用も検討していく必要があると考えている。</p>
<p>環境計画で、最近の新しい施設は、太陽光パネルが設置されることが多い。太陽光発電についての検討をされたのか教えてほしい。</p>	<p>太陽光発電については、基本設計段階で検討していく。</p>
<p>構造計画で、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造を比較検討されるということだが、可能であれば、多くの不特定多数の人が集える場所ということで、人や環境に優しい地元産の木材を使う方向で検討してほしい。</p>	<p>構造については、強度や安全性の確保、また建設コストの低減、建物用途に相応しい建築空間の実現等の様々な要件から判断し、基本設計で検討していく。</p>
<p>スケジュールでは、解体工事が令和5年5月以降ということだが、「総合支所等」というのはどこを指しているのか。</p>	<p>「総合支所等」という記載については、総合支所の裏の別館や倉庫が3棟あり、これらを含んでいる。</p>

ご意見・ご質問	応 答
<p>美東センターの解体はもう少し先になるということか。</p>	<p>美東センターは、教育委員会が所管しており、用途としては廃止するため、速やかに、美東センターも解体したいと教育委員会では考えている。ただし、何かしら使用しなければならない事情が出てきた場合には、その限りではないが、美東センターを長く使うことはないと考えている。</p>
<p>本来この建物が持っている。保健福祉機能はどのように考えているか。</p>	<p>保健福祉センターの機能は、公民館機能と兼ねる形になると考えている。また、検診については、多目的ホールの横に検診車をつけられるように考えており、集団検診、またその他様々な検診があるが、それらの検診に対応できるように考えている。</p>
<p>保健福祉機能、保健福祉の看板が無くなるのではないかと恐れを抱いている。保健福祉センターの看板があつて、ここに来たら保健師さんが居て、話を聞いてもらえる。それがこの保健福祉センターが持っている大事な機能。そういうときに、総合支所に相談に行こうとは思わない。保健福祉センターとしての看板を外して欲しくない。そういうことに対応できる保健師さんもここに帰ってきて欲しい。</p>	<p>検診等は、今の現総合支所から保健福祉センターに保健師が来て対応しているが、新庁舎等では保健師が常駐することになる。この新しい建物の名称は、今のところ検討していない。保健福祉センターの名前をそのまま残すこともまだ検討はしていないが、その辺りも含めて相談に来やすいネーミングを今後考えて行くべきだろうと考えている。</p>
<p>美祢の本庁で40億、秋芳と美東の総合支所で7億円と7億円で14億円という情報を聞いたことがあるが、今の状況はいくらになるのか。</p>	<p>本庁舎だが、財政計画上の数字、一応目標値ということになるが、約40億円となっている。また、総合支所は二箇所あるが、財政計画上では7億円と7億円である。現在、本庁舎が、約23億円まで縮減をかけている。美東総合支所については、7億9,000万円程度である。秋芳総合支所が様々な付随する工事も含め、今の段階で約10億3,000万円程度の計画になっている。</p>

ご意見・ご質問	応 答
<p>合併推進債を使うことになると、30%還付金が出ると思うが、その辺りの額によっては多目的ホール等の絡みを考えないと、確かにいいものをつくるに越したことはないが、先々子ども達に負担を残すという懸念をする。総枠が一体どのぐらいの計画なのか伺いたい。</p>	<p>合併推進債で起債を借りて戻ってくるお金が約36%ぐらいである。大まかに総合支所機能の部分だけが、合併推進債という起債を予定している。</p> <p>また、公民館機能と図書館機能の部分が、過疎対策事業債という起債を予定している。過疎対策事業債は、起債を返していく段階で約7割が返ってくる。</p>
<p>今度は新庁舎等が防災の拠点で、避難場所にもなると思う。ここは、保健福祉センターということで、全てバリアフリーで、段差のない設計になっているが、風当たりが強いことが気になる。新庁舎等を建てられるにあたり、台風による風と雨、これに対して十分対処していただきたい。</p>	<p>その辺りも含め、既存の建物については、改修等をしていきたいと思う。</p>
<p>防災計画の中で、避難所として使うことになっている。それに関してどれくらい避難人員の収容能力があるかをお聞きしたい。</p>	<p>新しい複合施設については、避難人員の収容能力を面積等から算出して、概ね700名程度を考えている。</p>
<p>避難所について、今美東地域には公民館や、その他公共施設がある。その大きさを勘案して、大丈夫なところはいくらあるのか、これ以外にここはこういう目的で使うから、この多目的ホールをつくる予定という考え方が必要。</p> <p>それから1カ所で全部やる発想は、やめた方がいい。</p>	<p>大田地区の避難場所は、現在は美東センターと美東中学校、大田小学校の3箇所の避難場所がある。大田公民館と美東図書館が、総合支所と一緒に、現保健福祉センター等に移ることから、美東センターはいずれ解体となる。新しい複合施設が完成したら、新しい複合施設と美東中学校と大田小学校の3箇所が避難場所になる。この3箇所で、大田地区の避難人員の収容ができるだろうと考えている。</p>
<p>美東センターを解体したら、収容人数が少なくなってくる。その場合はどう考えているか。</p>	<p>美東センターは、複合施設を建設する間は解体しない。そのため、瞬間的に何百人も入れなくなるという事態は、ないということは理解していただきたい。</p>

ご意見・ご質問	応 答
<p>総事業費が、美東が約 8 億円、秋芳が約 10 億円ですが、この差は何か。</p>	<p>美東は、美東保健福祉センターを改修するので、そこの部分は単価が下がる。秋芳の場合は、全部が新築で大まかに言うとそこの差になる。ただし、美東の場合には既存を使うことで面積のロスがあるため、面積は増えるが、建築費は全体で見ると安くなる。</p> <p>それと、解体する建物の面積なども関係してきている。</p>
<p>秋芳は、全部解体するのか。</p>	<p>秋芳の今の予定は、秋芳体育館を解体して、その場所に建設をする計画になっている。</p>
<p>美東は総事業費が 8 億円だが、この 8 億円という数字はどこから算出されたのか。金額の根拠を教えてください。</p>	<p>増築部分は、㎡当たり 48 万円、現の保健福祉センターを改修する部分は㎡当たり 22 万円で、概算の事業費用を出している。</p>
<p>この先、総事業費は増えたり減ったりすることもあるのか。</p>	<p>よく言われているのが、オリンピックの時は資材が高くなると言われている。様々な要因で総事業費が変動することはある。</p>
<p>図書館部門とそこを管理する公民館図書館事務が総合支所の隣にあるが、図書館の蔵書等の管理、貸し出し、そういうことに関する相談は、図書館の部屋と隣接している方が、利用者としては随分便利になると思うがどうか。</p>	<p>これは便宜上、図書館の事務や総合支所と書いてあるが、教育委員会の中で話しているのは、今まで図書館に 2 人いたから 2 人が図書館、10 人が総合支所、合わせて 12 人というわけではなく、一緒のフロアで仕事を行うため、そこは複合的にするべきだと思っている。仕事を洗い出して合理的に仕事ができる方法と、図書館の利用者が確実に利用できる方法を併せて考えたい。</p>